

平成27年度
教育委員会の点検・評価
報告書

平成28年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

- スクールサポーター配置事業
- 英語教育の推進
- 教育相談センター事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
- 県委託事業
- 特色ある学校づくり推進事業
- あま教師塾
- 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
- 教師力パワーアップ研修
- 学校支援会議
- あまっ子宣言
- 全国大会等出場報奨金
- 小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

- 公民館事業
- 成人式事業
- シルバーカレッジ事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権教育推進事業
- 社会教育団体育成事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 社会教育施設整備事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業
- 文化施設整備事業

(3) スポーツ課

- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業

(4) 学校給食センター課

- 学校給食事業
- 学校給食センター整備事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成27年度は定例会議を12回、臨時会議を2回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（平成28年3月31日現在）

職 名	氏 名	任 期
委員長	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成23年6月25日から平成27年6月24日 平成27年6月25日から平成31年6月24日
委員長職務代理者	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成24年6月24日 平成24年6月25日から平成28年6月24日
委 員	なんや えみこ 南谷 恵美子	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成26年6月24日 平成26年6月25日から平成30年6月24日
委 員	よしだ のりよし 吉田 法良	平成25年6月25日から平成29年6月24日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成24年4月1日から平成26年6月24日 平成26年6月25日から平成30年6月24日

(2) 教育委員会会議等

開 催 日	開 始 時 間	議案件数	報告件数
平成27年 4月22日(水)	午後2時	9	3
5月27日(水)	午後2時	6	4
6月25日(木)	午後3時	2	0
6月25日(木)	午後3時10分	6	9
7月22日(水)	午後1時30分	6	5
8月20日(木)	午後2時	4	5
9月28日(月)	午後2時	7	5
10月19日(月)	午後2時30分	6	5
11月26日(木)	午後2時30分	7	4
12月4日(金)	午後4時	2	0
12月22日(火)	午後2時	6	6
平成28年 1月25日(月)	午後2時	7	4
2月25日(木)	午後2時	16	8
3月22日(火)	午後2時	9	7

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「教科用図書の採択」など93件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

また、臨時会（平成27年6月25日・12月4日開催）では、「教育委員会委員長の選出」、「総合教育会議」など4件の議案が協議されました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

委員の活動状況は次のとおりでした。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

○市議会関係	43回
○都市教育長会事業	10回
○海部地方教育事務協議会	11回
○学校行事	60回
○学校訪問	18回
○その他学校教育課事業	46回
○生涯学習課事業	43回
○スポーツ課事業	18回
○学校給食センター課事業	2回
○表敬訪問	15回
○その他の事業	98回

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。この考えをもとに、平成24年4月に策定した「あま市教育立市プラン」の具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置事業（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置事業（全小中学校（市雇用））
- 教員研修「教師力パワーアップ研修」
- 教育相談センター事業
- 人権教育の推進
- 教育人材バンクと出前授業
- 特色ある学校づくり推進事業
- 小中学校適正規模等見直し検討事業
- 公民館事業
- シルバーカレッジ事業
- 人権教育推進事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 美和文化会館事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 学校給食事業

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■スクールサポーター配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T (チーム・ティーチング)指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

- ・スクールサポーター 66人

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T Tの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

T T…担当の教師が進める授業に、教師とスクールサポーター（教職補助員）がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、邦人（4人）と外国人（6人）の非常勤講師を英語指導助手（A L T）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- (1) 中学校の英語科授業における英語指導
- (2) 小学校の英語活動における英語指導
- (3) 授業で使用する教材の作成
- (4) 教員に対する現職研修
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- (6) 研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 10人(アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、日本)
- ・中学校：英語指導助手 5人(アメリカ合衆国、イギリス)

また、市内外国語部会を年間3回開催し、各学校の外国語活動の取組について情報交換を行いました。

※ 各小学校では、A L TとのT T指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、A L Tと英語教師によるT T指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

新学習指導要領の実施に伴い外国語活動が始まり、より高い指導力の教育体制づくりを目指していきます。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」・「教育相談活動」・「不登校などの指導及び支援」を三つの柱とし次の事業を実施しました。

○学校教育支援事業

学校における日々の指導の中で、子ども同士のかかわりや高まりを大切にした学級経営や授業の改善を進める必要があります。そこで校内における現職教育や「あま市教職員研修」の充実をめざして、「教育アドバイザーの派遣事業」と「教師力パワーアップ講座」を実施しました。

- ・教育アドバイザー派遣事業

各学校の教科指導、児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招聘しました。

・教師力パワーアップ講座

教員の力量向上を目指して年9回の講座を実施しました。児童生徒の正しい理解を目指して、特別支援教育やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義及びリスクマネジメントや授業づくりに関する講義が行われました。

○教育相談事業

学校生活や教育活動上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

【職員】	・教育相談員	1人
	・心理支援相談員	3人
	・学校支援アドバイザー	1人
	・親と子の相談員	1人

【教育・心理 相談面接待件数（巡回指導含む。）】

・保護者	492件	
・児童生徒	925件	
・教職員	610件	
・教室訪問	438件	合計 2,465件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生徒指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

【職員】	・専任指導員	1人
	・補助員	6人

【通室者】	・平成27年度：適応指導教室の登録者数	22人
	・適応指導時間数	のべ4,566時間

※ 学校支援室、教育相談室、適応指導教室など学校教育活動の支援体制を充実することができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでいますが、児童生徒数の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、市民の意見を聴きながら学区の見直しの必要性を検証し、必要に応じて旧3町の枠組みにとらわれることなく学区の抜本的な見直しを行うことにより適正規模化を進めることに取り組みしました。平成27年度は1地区で検討委員会を設置し、市民の意見を聴きながら検討をしました。

○篠田小学校・美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会

・七宝北中学校の小規模校、美和中学校の大規模校解消に向けて篠田小学校・美和東小学校の学区の一部を美和中学校の学区から七宝北中学校の学区に変更することについて検討

・地区委員会（4回開催）

6月12日、8月31日、12月2日、2月16日

- ・学区見直しに関する現状報告会の開催

12月15日（篠田小学校）、12月20日（美和東小学校）

※ 七宝北中学校・美和中学校地区は学区見直しに対する問題点が山積していることが明確になり、もっと時間をかけて、また、美和東小学校区・篠田小学校区の七宝北中学校に近い地区も含めて検討しました。

学区の見直しについての方向性を見出せなかったものの、学校の適正規模等について、平成28年度も引き続き検討をし方向性を決定します。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成27年度の研究主題を『人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育 ～「人権尊重の教育の視点」を指針とし、子どもたちの意識・意欲・態度を育てるために～』として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

○会 長 甚目寺南中学校長

○事業費 800,000円（市補助金）

○主な活動内容

- ・海部地区人権教育講演会実施
- ・全国人権・同和教育研究大会等参加
- ・研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

■県委託事業

○あいち・出会いと体験の道場推進事業

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の2年生を対象に実施しました。

- ・事業費 562,784円（うち県委託金 231,250円）
- ・実施内容

学 校 名	参加生徒数	実 施 日	受 入 事業所数
七宝中学校	159名	6月9日～11日	56か所
七宝北中学校	76名	6月9日～11日	23か所
美和中学校	247名	10月27日～29日	68か所
甚目寺中学校	234名	11月11日～13日	54か所
甚目寺南中学校	225名	10月21日～23日	53か所

※ 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

○特別支援教育推進モデル事業

愛知県の委託事業として、通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒に対する指導・支援方法について研究を行いました。

- ・事業費 100,000円（うち県委託金 100,000円）

- ・拠 点 校 七宝小学校
- ・事業内容 通常学級における授業研究会
発達障害等を持つ児童生徒理解についての研修
通級指導教室担当者研修会
通級指導教室における授業研究会

※ 学識経験者等を招き、市内全小中学校に参加を呼びかけ、拠点校を中心に研究会や研修会を実施しました。この事業を通して、発達障害等がある児童生徒への理解を深めることができました。

○学校教育研究委嘱校委託事業

愛知県の委託事業として、研究領域「学校体育」について、全校的に研究を行いました。

- ・事業費 61,700円（うち県委託金 61,700円）
- ・実施校 美和中学校
- ・事業内容
保健体育の授業での取組・・・「やってみたい」「高めたい」「続けたい」と思わせる取組
体力づくり部会での取組・・・生徒会との連携
特設部活動（陸上・駅伝・相撲）
健康づくり部会での取組・・・道徳の実践、けがの予防講習会、啓発活動

※ 体育の授業や、学校行事、部活動を通じた仲間とのふれあい、達成感を分かち合う心の醸成、基礎体力・運動能力の向上を図り生涯にわたって運動やスポーツに親しむ習慣づくりに取り組むことができました。

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 6,394,135円（全小中学校合計）
- ・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

7月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、11月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。事業の主なものについては次のとおりです。

- (1) 教師の資質向上を図り学校の教育力を高める事業
- (2) 子どもの基礎学力向上を図り確かな学力を育成する事業
- (3) 豊かな心づくりとたくましい体力づくりに関する事業
- (4) 学校を開き、家庭・地域・学校が連携し、「地域に密着した学校づくり」に関する事業
- (5) その他特色ある学校づくりに関する事業

審査会を実施することで、限られた市の予算を「より熱い思いの事業」に配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりをめざし、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

※ 4年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

■あま教師塾

平成24年度から、あま市内の小中学校の新任から2年目・3年目の教職員を対象として、自主的な研修活動を行うため「あま教師塾」を設置しました。平成25年度からは、期限付任用教員（期付）・派遣非常勤講師（非常勤）・臨時的任用教員（臨任）もこの塾に参加できることとし、教師力の向上を進めています。

講座の内容は次の通りです。

回	講 座 内 容	講 師
1	授業づくり	弥富市立桜小学校 遠藤 孝 氏
2	子どもたちの力を伸ばす学校清掃セミナー	あま市立甚目寺中学校 畔柳 穂奈美 氏
3	あま市の歴史を探る	あま市教育委員会担当者
4	教材研究の楽しさを体感しよう ～算数・数学教材を通して～	岐阜聖徳大学 玉置 崇 氏
5	E S Dの教育をどう進めるか	元あま市立甚目寺小学校長 前野 伸夫 氏
6	学級づくり	津島市立南小学校 森本 恵作 氏
7	教育法規の基礎	あま市立甚目寺中学校 大野 正親 氏
8	若い教師に望むこと	あま市教育委員会教育長 松永 裕和 氏

※ 市内の若手教職員の研修活動を支援することができました。1年を通して8回の研修活動を行い、教師としての成長を感じました。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、次の活動を行うものとしています。

- (1) 講師は、登録された分野に係る指導、講座の実施等を学校の依頼に応じて行うものとする。
- (2) 学校支援ボランティアは、学校の依頼に応じて、登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援を行うものとする。

今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やしていく予定です。

また、人材バンクと併せて「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業を全ての小学校（12回の出前授業）で実施しました。

また、平成27年度は、小学校高学年の希望者を対象に「あま市ものしりジュニア選手権」を実施しました。

※ 地元の人材を掘り起こし、有効活用を図る教育人材バンクの設置、及び出前授業の実施は、地域に密着する市民協働のまちづくりの第一歩として効果を上げる事ができました。また、ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

■教師力パワーアップ研修

平成23年度から始まった教師力パワーアップ研修は5年目を迎えました。平成27年度は講座にテーマを設定し、校務分掌等がかかわりのある教師に参加を依頼しました。日頃いろいろな問題に出会い、教師としてその解決に戸惑う場面に突き当たることが多くあり、そのような時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることがこの講座のねらいです。研修の内容は次の通りです。

回	研 修 内 容	講 師
1	学校経営について	元豊田市立前山小学校長 榊岡 譲 氏
2	教育論文の書き方	津島市立南小学校長 浅井 厚視 氏
3	新任四役研修会（危機管理講座含む）	あま市立甚目寺東小学校 岸 稚人 氏
4	学級の中で障がいのある子の指導について	名古屋経済大学 山本 順大 氏
5	言語活動の活発化	名古屋女子大学 榊川 知 氏
6	楽しい理科実験	淑徳大学 佐藤 成哉 氏
7	子どもの遊びと指導	「いっしょに遊ぼう」代表 志村 貴子 氏
8	道徳事業の教材とは	元岡崎市立根石小学校長 松井 伸市 氏
9	不登校「新たな一人を出さないために」	あま市教育相談センター 川岸 晃子 氏

※ 教員の資質や力量の向上のため、校内では十分に行うことのできない研修について補充・支援や充実を図ることができました。

■学校支援会議

平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（略称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

① 家庭への働きかけや保護者に対する指導

② 学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請

③ 緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。

・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良いと考える教職員）

・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー

① あま市教育委員会（指導主事など）

② あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）

- ・会議の必要に応じて招集するメンバー
 - ③ 海部児童・障害者相談センター
 - ④ 警察関係者
 - ⑤ 学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）
 - ⑥ 学校医・学校歯科医・あま市民病院
 - ⑦ あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立したことは画期的で、地域に密着した学校づくりを進めることができました。

■あまっ子宣言

あまっ子宣言ファイルを作成し、児童生徒に配布しました。

あまっ子宣言の唱和やあまっ子宣言を取り入れた授業等を行いました。

※ 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいます。

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

国際大会 4人

全国大会 46人

・事業費 340,000円

※ あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

■小中学校施設整備事業

安全安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○甚目寺南小学校非構造部材耐震改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

平成22年3月文部科学省作成、「地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るために」～学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック～に基づき調査を行い、外壁及び窓ガラス改修工事をしました。

・事業内容 外壁改修及び飛散防止フィルム貼り等

・事業費 76,107,600円

※ この改修工事を実施することにより、児童が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

○篠田小学校トイレ及びキュービクル改修工事

篠田小学校のトイレは、湿式床であり排水も悪く汚臭の原因の一つとなっていました。また、キュービクルは建築当時から30年以上改修を実施しておらず、漏電によるショートの高危険性が常に高い状態となっていたため、改修し施設整備を行いました。

・事業内容 校舎（8ヵ所）及び屋内運動場（1ヵ所）の計9ヵ所のトイレ改修及び受変電設備改修

・事業費 41,632,523円

※ 工事請負業者からの工事続行不能届の提出により工期途中で工事請負契約が解除となってしまいましたが、引き続き事業を進め、児童が安全安心に使用できる学校の施設整備に努めます。

(2) 生涯学習課

■公民館事業

市民の学習ニーズにあった学習の機会を提供し、自発的な学習意欲を喚起するとともに、知識や趣味を広げるきっかけ作りとしました。

○社会教育講座

美和公民館

各回テーマ	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
フィリピン文化について ～多文化家族を中心に～	5月16日 (土) 午前	一般(大学生以上)	6回	25名	11名	11名
ブラックホールと宇宙	6月13日 (土) 午前					
アフロ・ユーラシア乾燥地の暮らし	7月4日 (土) 午前					
私たちの生活の安全と国際法	8月2日 (日) 午前					
貧困削減と国際協力	8月22日 (土) 午前					
認知症の人と家族が暮らしやすい社会をつくるために	9月12日 (土) 午前					

七宝公民館

各回テーマ	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
スッキリ暮らそう！住まいとココロの整理術	10月16日 (金) 午後	一般(大学生以上)	6回	25名	25名	66名
やさしく学べる男女共同参画	11月27日 (金) 午後					
役に立つ楽しいマジック	12月4日 (金) 午後					
おしゃれカラーと心を癒す色の楽しみ方	1月15日 (金) 午後					
食について学ぶ ～名古屋市中央卸売市場南部市場見学～	2月5日 (金) 午後					
イスに座って楽しくエクササイズ(短時間・簡単・効果あり!!)	3月11日 (金) 午後					

※ 社会教育講座を通じて、幅広い知識を学ぶことができました。また、市民と市民の繋がりを深めることができました。

○公民館講座

各種講座を開催し、市民が知識や趣味を広げる機会を提供しました。

七宝公民館

前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
セルフ整膚～自分の指で健康づくり～	一般	5 回	25 名	25 名	58 名
パン作り	一般	5 回	36 名	33 名	33 名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	一般	8 回	15 名	15 名	72 名
楽しく学ぶ英会話レッスン 〈初級クラス〉	中学生以上	5 回	15 名	15 名	15 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パン作り	一般	5 回	36 名	36 名	47 名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	一般	8 回	15 名	15 名	78 名
クリスマスケーキ作り（託児有）	一般	1 回	36 名	36 名	87 名
初めてのパソコン	一般	6 回	15 名	15 名	24 名
ワード初級	一般	6 回	15 名	15 名	24 名
ワード中級	一般	10 回	15 名	15 名	22 名
エクセル初級	一般	6 回	15 名	15 名	28 名
エクセル中級	一般	10 回	15 名	15 名	15 名

美和公民館

前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
認知症予防講座～あゆむん体操で目指そう元気な体作り～	65 歳以上	5 回	20 名	21 名	21 名
楽しく学ぶ英会話レッスン 〈入門クラス〉	中学生以上	5 回	15 名	15 名	15 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
国際理解教育講座『世界を知って、異文化を感じる』	一般（高校生以上）	5 回	25 名	25 名	31 名
料理講座「イタリア料理（基本クラス）」（託児有）	一般（高校生以上）	5 回	24 名	24 名	40 名

甚目寺公民館

前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
知って得する『からだの痛み』	一般	1 回	30 名	26 名	31 名
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）①	一般	3 回	15 名	15 名	32 名
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）②	一般	3 回	15 名	15 名	17 名
ゆかた着付け（託児有）	女性	1 回	25 名	20 名	22 名
自分史入門	一般	5 回	20 名	8 名	8 名
子どもパソコン教室	小学4年生～6年生	1 回	10 名	5 名	5 名
楽しく学ぶ英会話レッスン〈中級クラス〉	中学生以上	5 回	15 名	8 名	8 名

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）①	一般	3 回	15 名	15 名	34 名
上手に書けるボールペン・筆ペン（基礎編）②	一般	3 回	15 名	15 名	24 名
もっと上手に書けるボールペン・筆ペン（応用編）	一般	3 回	15 名	15 名	24 名
女声コーラス	女性	4 回	20 名	22 名	25 名
アロマテラピー入門（託児有）	一般	5 回	25 名	25 名	37 名
子どもの個性を 120%引き出す個性心理学（託児有）	子育て中のママ	5 回	20 名	20 名	31 名
着物の着付けと装い（託児有）	女性	6 回	25 名	25 名	38 名

○親子ふれあい講座

小学生の親子対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としました。

七宝公民館

前期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子エアロビクス	親子	1 回	20 組	5 組 (9 名)	5 組 (9 名)
親子パン作り	親子	1 回	12 組	12 組 (26 名)	12 組 (26 名)
親子飾り巻きずし	親子	1 回	12 組	10 組 (21 名)	10 組 (21 名)

後期講座

講 座 名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子フラワー①	親子	1 回	12 組	12 組 (23 名)	12 組 (23 名)
親子パン作り①	親子	1 回	12 組	12 組 (24 名)	12 組 (24 名)
親子お菓子作り	親子	1 回	12 組	12 組 (24 名)	12 組 (24 名)
親子パン作り②	親子	1 回	12 組	11 組 (23 名)	11 組 (23 名)
親子フラワー②	親子	1 回	12 組	12 組 (22 名)	12 組 (22 名)
親子エアロビクス	親子	1 回	20 組	6 組 (10 名)	6 組 (10 名)

○公演・イベント事業

親子対象の事業を実施し、親子のふれあいの場を提供しました。

事 業 名	事業内容	開催日時	会 場	入場者
親子ふれあい 映画会	「メアリーと秘密の王国」 上映	平成 27 年 5 月 23 日 (土) 午前 10 時 30 分～	甚目寺公民館 大ホール	93 名
	「アナと雪の女王」上映	平成 27 年 10 月 31 日 (土) 午後 2 時～	七宝公民館 講堂	66 名
親子人形劇 鑑賞会	人形劇団「むすび座」公演 ・「はっぴいキッチン」 ・「だぶだぶ」	平成 28 年 2 月 6 日 (土) 午前 10 時 30 分～	甚目寺公民館 講義室	109 名
親子ふれあい 音楽会	・「女学生」 ・「聖者の行進」 ・「ディズニーメドレー」他	平成 27 年 8 月 22 日 (土) 午後 2 時～	七宝公民館 講堂	250 名
	・「アヴェマリア」 ・「どこかで春が」 ・「花の街」他	平成 28 年 1 月 24 日 (日) 午後 2 時～	美和文化会館 大ホール	200 名

○図書室・読書室事業

下記の事業を実施し、幼児・児童やその親が絵本などにふれあう機会を提供しました。

事業名	実施内容	回数	参加者	会場
この本だいすきの会のよみきかせ	幼児・児童向け絵本のよみきかせ	39回	177名	甚目寺公民館 3階図書室
おどろぐばこのかみしばい	幼児・児童向けかみしばい	12回	55名	甚目寺公民館 3階図書室
もこもこのおはなし会	親子で楽しむ絵本とわらべうた	12回	375名	甚目寺公民館 2階教養室
		10回	98名	七宝公民館 1階和室

○パソコン相談室

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

・七宝公民館

実施回数 24回

(2名のボランティアの協力により実施)

・甚目寺公民館

実施回数 22回

(五条高等学校パソコン部委託分 10回)

(甚目寺パソコンクラブ委託分 12回)

※ 講座を通じて自分の知識の充実を図り、仲間づくりができました。また親子対象の事業では、共通の話題ができ、親子の触れ合いを深めることができました。

■成人式事業

成人の日を迎えたことを祝し、これから一層飛躍されることを願って、市と市教育委員会の共催により実施しました。

・日時及び場所：平成28年1月10日(日)＜第2日曜日＞

甚目寺地区：午前9時30分開始 甚目寺公民館大ホール

美和・七宝地区：午前10時30分開始 美和文化会館大ホール

・行事の内容：式典、成人式実行委員会企画

・記念品：SHOTNOTE (スマホアプリ対応メモ帳)

・新成人：平成7年4月2日～平成8年4月1日生れ
市内在住の新成人

・対象者：827人(男性420人、女性407人)

・参加者：625人(男性310人、女性315人)

＜参加率約75.6%＞

上記の他、市外からの参加を希望した新成人

52人(男性24人、女性28人)

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者により、受付、司会等が行われ、感動的な式典となりました。

■シルバーカレッジ事業

60歳以上のシニア層が生涯現役でいきいきと活動できる社会を目指し、「地域社会に貢献」、「地域におけるコミュニティ活動やボランティア活動」の担い手となるためのスキルアップを学習する機会を提供する場として、平成28年度から本格実施するシルバーカレッジ事業のプレ開講の位置づけで実施しました。

○開講記念【中尾 彬トークショー】

会 場	開催日時	参加者数
美和文化会館大ホール	平成27年10月17日（土） 午後1時30分開演	300名

○プレオープンセミナー

テーマ	開催日（全て金曜日）	受講者数
自己分析と今後のキャリア形成	平成27年11月13日・20日・27日	37名
タブレットの使い方	平成27年12月4日・11日・18日	50名
福祉ボランティア養成講座	平成28年1月15日・22日・29日	50名
地域活性化に貢献できるボランティア講座	平成28年2月5日・12日・19日	27名
健康づくり講座 ～生涯いきいきライフを目指して～	平成28年2月26日、 3月4日・11日	43名

会場 シルバーカレッジ教室

時間 午前9時30分から午後0時30分まで

対象 あま市在住若しくは在勤の60歳以上の方

定員 50名

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えています。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、幼児期家庭教育講座を開催しました。

○幼児期家庭教育講座

講 座 名	開催場所	受講者数
消防署へ行こう！ ～消防署見学と応急手当～	海部東部消防署	15組（42名）
おやこであ・そ・ぼ	甚目寺総合福祉会館	31組（62名）
親子で野菜作りPART9	あま市二ツ寺地内の畑	20組（59名）

ドロンコ遊びをしよう	海部東農協・美和ライスセンターの田	29 組 (92 名)
助産師さんと話そう ～男の子(乳幼児)を持つママのための講座～(託児有)	美和公民館	15 名
わくわく！！ウインナーの飾り切り講座(託児有)	七宝公民館	15 名
オリジナルバッグ作り(託児有)	甚目寺公民館	7 名
助産師さんと話そう ～女の子を持つママのための講座～(託児有)	甚目寺公民館	16 名
赤ちゃんと一緒にベビーダンス♪	美和公民館	16 組 (33 名)
開催！芋ほり祭り	あま市二ツ寺地内の畑	14 組 (29 名)
おやこであ・そ・ぼ	七宝児童館	15 組 (31 名)
クリスマスを食べよう	美和公民館	10 組 (26 名)
凧を作って遊ぼう	七宝焼アートヴィレッジ	14 組 (43 名)
飾り巻きずしを作ろう	七宝公民館	11 組 (24 名)

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化しつつあり、家庭教育のあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校 P T A 関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

学校名	主な内容
七宝小学校	実技講習(プリザーブドフラワー講習)
宝小学校	実習(親子ふれあい除草)、実技講習(プリザーブドフラワー講習)
伊福小学校	ポスター作製(伊福小すこやか子育て宣言)
秋竹小学校	講習(子育て講座)、実技講習(フラワーアレンジメント講習)
美和小学校	実技講習(ヨガ講座、アートフラワーアレンジ)
正則小学校	講習(読み聞かせ講習、保護者のためのスマホ教室)

篠田小学校	実習（親子除草活動、親子共同制作活動）
美和東小学校	講演（魔法の言葉で素敵にコミュニケーション）
甚目寺小学校	実技講習（親子ビーズ作り教室、キッチンサイエンス）
甚目寺南小学校	実技講習（エアロビクス教室、フラワーアレンジ教室）
甚目寺東小学校	講演（親と子が友に育つために）、実技講習（料理教室）
甚目寺西小学校	実技講習（ヨガ教室、クリスマスガーランドづくり教室）
七宝中学校	講演（自分の個性を最大限に生かす レッシュ4スタンス理論）
七宝北中学校	講演（東日本大震災被災者の声を聞く会）、実習（校区美化活動）
美和中学校	講習（PTA家庭教育学級）、実習（クリーン作戦）
甚目寺中学校	実技講習（お正月飾り作り、簡単パン作り）
甚目寺南中学校	実技講習（押し花書道教室）、講習（給食試食会）

○子育てサロン

七宝公民館和室・甚目寺公民館談話室に「飲食ができるスペース」、「子どもを遊ばせることができるスペース」をつくり、保護者と子どもが集える場を提供しました。

- ・七宝公民館（8・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分）
開催日数 20日
参加者数 延べ108組232名
- ・甚目寺公民館（8・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時）
開催日数 30日
参加者数 延べ71組159名

※ 参加者が子育ての知識を得るとともに、親同士のつながりを持つことができ、今後の子育ての問題解決の糸口をつかむきっかけとなりました。

○ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者のはじめての本の出会いとして、各保健センターで行う乳児健診時に読み聞かせを行い、絵本を手渡しました。家庭での読み聞かせを促し、市内図書館等の利用促進を図りました。

- ・七宝保健センター
開催日数 8日
実施者数 97名
- ・美和保健センター
開催日数 8日
実施者数 107名
- ・甚目寺保健センター
開催日数 15日
実施者数 273名

（注）美和保健センターの実施者数については、後述の美和図書館事業にある「ブックスタート出張読み聞かせ」と重複しています。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○夏期街頭パトロール活動

平成27年7月17日（金）～平成27年8月28日（金）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○「第3回あまつり2015」夜間街頭パトロール活動

平成27年8月15日（土）に会場となった七宝焼アートヴィレッジ周辺の街頭パトロールを行いました。

○街頭啓発活動

平成27年12月6日（日）にあま市人権講演会において、啓発資材（ウェットティッシュ）の配布を行いました。

○冬期街頭パトロール活動

平成27年12月22日（火）～平成28年3月11日（金）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○中学校卒業式前夜パトロール活動

市内各中学校卒業式（3月4日）の前夜の平成28年3月3日（木）、校内及び会場周辺の街頭パトロールを行いました。

○サマーキャンプ事業

平成27年7月25日（土）、26日（日）に夏休みを利用した「野外活動」を通じて、電気・ガス・水道等の重要性や小学校間の異学年児童たちの交流を図るあま市青少年キャンプを行いました。

※ 非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく多様な交流の機会ができました。そして、大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるのかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、講演会を実施しました。

日 時：平成27年8月7日（金） 午後2時～午後4時

場 所：甚目寺公民館大ホール

講 師：蓮池 薫 氏

翻訳家・新潟産業大学経済学部准教授

演 題：「夢と絆を求めて～翻弄された運命のなかで～」

参 加 者：800名（対象／市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員他）

※ 講演を通じて、多くの方が人権問題の正しい認識と理解を深めることができました。

■社会教育団体育成事業

『あま市文化協会』

市民及び市内文化団体の日頃の芸術・文化活動の成果を発表し、あま市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することを目的とし、市の文化・芸能の発展を積極的に行っている「あま市文化協会」に対し補助金を交付しました。

○第6回あま市文化祭（あま市文化協会主催）

- ・作品生花展示、芸能発表会、茶会

日 時：平成27年11月7日（土）、8日（日）午前9時～午後4時

会 場：七宝公民館、甚目寺公民館及び美和文化会館

参加者数：作品生花展示 文化協会44団体824名、一般参加115名

芸能発表会 文化協会45団体562名、一般参加5団体81名

茶会 文化協会6団体

- ・第6回あま市民囲碁大会

日 時：平成27年11月15日（日）午前9時～午後4時

会 場：美和文化会館

参加者数：文化協会3団体57名、一般参加2名

- ・第6回あま市民将棋大会

日 時：平成27年11月15日（日）午前9時～午後4時

会 場：七宝公民館

参加者数：文化協会3団体41名、一般参加6名

※ 市民が文化・芸能活動に触れる機会を設けたことにより、市民の自発的な学習活動の向上を図るとともに、地域住民相互の交流を深め、文化振興に寄与することができました。

『あま市女性の会』

女性の社会参画促進や社会教育及び地域社会の発展のために、多くの女性参加が得られるような各種事業を積極的に行っている「あま市女性の会」に対し補助金を交付しました。

○夏まつり盆踊り練習会

日 時：平成27年6月27日（土）午後1時～午後4時

会 場：甚目寺公民館

参加者数：約100名

○主催講座「干支の木目込人形作り」

日 時：平成27年11月10日・17日・24日（火）

午前9時30分～正午

会 場：甚目寺公民館

参加者数：21名

○主催講座「手作り味噌の作り方」

日 時：平成28年2月17日（水）午前10時～正午

会 場：美和公民館

参加者数：20名

○主催講演会「おはなし コミュニケーション」

日 時：平成28年2月25日（木）午後1時30分～午後3時

会 場：甚目寺公民館

参加者数：約80名

※ 女性が各種事業に積極的に参加できる機会を設けたことにより、女性の社会参画や地域の交流が深まり、社会教育の発展に寄与することができました。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市民一人ひとりの文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内各地にて各種事業を実施しました。

○企画展示会

下記のとおり、美和歴史民俗資料館にて企画展を実施、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企 画 展 名	開 催 場 所	開催期間	入場者数
収蔵品展「春の掛け軸展」	美和歴史民俗資料館	2月28日～ 5月16日	831名
第25回「ときのきねんび展」	美和歴史民俗資料館	6月1日～ 6月30日	2,773名
夏の企画展「あま市と戦争展」	美和歴史民俗資料館	7月18日～ 9月21日	532名
館蔵浮世絵展 武者絵・合戦絵を中心に	美和歴史民俗資料館	11月1日～ 12月6日	520名
花鳥画家 山田双年の素描画展	美和歴史民俗資料館	3月13日～ 5月15日	65名

○歴史散策事業

市内各地で執り行われる祭事、史跡や文化財をめぐる散策により、市の歴史文化を認識する機会を提供しました。

事 業 名	散 策 地	開催日	参加者数
歴史散策講座 (アルケミスト)	春の息吹とあまの祭り (蓮華寺のお練り供養見学)	4月19日	25名
	下萱津フジと周辺の散策	5月2日・3日	約250名
	西今宿と観音朝市	7月12日	25名
	香の物祭見学と萱津宿 (歴史ガイド養成者対象)	8月21日	12名
	古刹を巡る (甚目寺と法性寺)	10月24日	25名
	七宝焼の里を巡る (遠島、秋竹地区)	11月14日	25名
巡回バス利用 (ばすたんぼう)	あま市の南部をたずねて (伊福、下之森、川部)	3月22日	12名

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

地元の川や生物を調べることにより、あま市の水文化（田んぼ）の役割と地域と水との関わり合いを知る機会を提供しました。対象は小学生。

内 容	開催日	参加者数
田んぼの学校	7 月 4 日	延 60 名
水質調査	7 月 21 日	
木曽川調査	8 月 3 日	
エコきっずサミット参加 （会場：蟹江歴史民俗資料館）	8 月 22 日	

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に周知する機会を提供しました。

事 業 名	講 師／演 題	開 催 日 及び場所	参加 者数
歴史文化講演会 海部歴史講演会	講師：甚目 昌氏 演題：「移りゆく甚目寺観音とその祭事」	5 月 16 日 甚目寺公民館	130 名
	講師：日比野友亮氏 演題：「あまのかわ前後編」	9 月 12 日・13 日 美和文化会館	延 65 名
	講師：安立満裕氏 演題：「海東郡富田町の歴史と文化」	1 月 31 日 シルバーカレッジ教室	26 名
海部歴史研究会主催 海部歴史講演会	講師：大島静雄氏 演題：「戦後 70 年事業 海部と戦争の語り部」	6 月 21 日 弥富市社教センター	130 名
	講師：石田泰弘氏他 演題：「尾張の新田について」	3 月 6 日 弥富市社教センター	142 名

○歴史文化体験講座

坐禅と写経で自らを見つめ直し、古文書を解読し歴史の奥深さを学ぶ機会を提供しました。

講座名	講師	開催期日	場所	受講者数
坐禅に学ぶ	山田・信氏 （菊泉院住職）	10 月～11 月（4 回）	菊泉院本堂	各 20 名
古文書解読講座	藤井智鶴氏	6 月～3 月（11 回）	美和歴史民俗資料館等	18 名
しめ縄教室	竹田武夫氏	12 月 20 日	美和歴史民俗資料館	20 名
親子参加 勾玉づくり	竹田繁良氏	3 月 5 日	シルバーカレッジ教室	10 組

○出前授業（移動博物館）

歴史民俗資料館の収蔵品を資料として、昔のくらしと生活道具について出前授業を実施しました。子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

実施日	学校名	内容
11月15日	六輪小学校（稲沢市）	移動博物館
1月12日	篠田小（午前）・宝小（午後）	移動博物館
1月15日	甚目寺東小	移動博物館
1月19日	秋竹小	移動博物館
1月19日	美和小	美和歴史民俗資料館見学
1月22日	甚目寺南小	甚目寺歴史民俗資料館見学
1月26日	七宝小	移動博物館
1月29日	伊福小	移動博物館
2月2日	正則小	移動博物館
2月5日	美和東小	移動博物館
2月12日	甚目寺小	甚目寺歴史民俗資料館見学
2月16日	甚目寺西小	移動博物館

- ・実施校：市内全小学校ほか
- ・対象：小学3年生
- ・移動博物館で学校に持参する収蔵品は蚊帳、箱膳、ひのし、いずみ、釜、箱寿司道具、徳利、尋常小学校教科書など16点ほど

○検定事業

検定を通してあま市の歴史文化を多くの人々に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。

（１）第４回あま市ものしりジュニア検定

- ・実行委員長 渡辺幸人氏
- ・期間：平成28年1月下旬～2月上旬
- ・会場：市内各小学校
- ・対象：小学6年生
- ・受検者：853名
- ・平均点：73.2点（80点以上378名：44％）

あま市ものしりジュニア選手権

- ・日時：平成28年2月21日（日）午前10時30分～午後4時
- ・参加者数：78名（三人一組で申込み）
- ・対象：市内小学4年～6年生児童
- ・会場：七宝焼アートヴィレッジ交流ホール

（２）第６回あま市ものしり検定

- ・実行委員長 浅井厚視氏
- ・日時：平成28年3月6日（日）午後2時～
- ・会場：情報ふれあいセンター

- ・受 検 者：29名（初級編：10名、上級編：19名）
- ・合 格 者：初級編：4名、上級編：14名
- ・合 格 率：初級編：40％、上級編：73％
- ・備 考：2月7日（土）、シルバーカレッジ教室にて事前講習会を実施し、24名が参加しました。合格者にはオリジナルのピンバッジを贈呈しました。

○文化財保護啓発事業

<公開>

県天然記念物 下萱津のフジ公開事業

- ・公開日 平成27年5月2日（土）、3日（日）
- ・協 力 下萱津区、下萱津老人クラブ連合会、(株)河村産業所
- ・見学者 540名

<指定>

「二十五菩薩お練り供養」の文化財指定

- ・種 別 市指定無形民俗文化財
- ・所 蔵 先 蓮華寺
- ・指定年月日 平成28年2月25日
- 「二十五菩薩面」25面一括
- ・種 別 市指定有形文化財
- ・所 蔵 先 蓮華寺
- ・指定年月日 平成28年2月25日

<保護>

第62回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日 時：平成28年1月26日（火） 午前10時～午前11時
- ・参 加 者：海部東部消防署20名、市消防団8名、甚目寺観音自衛団10名

<調査>

オコワ祭の民俗調査（市指定無形民俗文化財）

- ・調査団体：尾張西部のオコワ祭調査委員会
- ・そ の 他：あま市と愛西市で執り行われる同祭を調査専門員による報告書（A4版300ページ）を刊行しました。

○刊行物

あま市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内 容	備 考
資料館だより ニュースレター006号	歴史民俗資料館事業報告、資料館ニュースなど	A4版、6頁 1,000部

※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により、文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■社会教育施設整備事業

生涯学習活動の拠点となる公民館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○七宝公民館受電設備更新工事

七宝公民館の受電設備は、開館から36年が経過し、経年劣化が進行しており、漏電・停電の危険性が指摘されていたため更新工事を行いました。また、浄化槽のブロワー及び制御盤が同設備の防護柵内に設置されているため、保守点検時は柵内での作業になり危険を伴うので、工事に併せて移設しました。

- ・事業内容 受電設備更新に係る設計及び工事
- ・事業費 7,042,140円

※ この工事を実施したことにより、施設利用者に安全で快適な施設環境を提供することができました。

○碓目寺公民館 大ホール舞台ファンコイルユニット系統配管バルブ追加工事

大ホール舞台ファンコイルユニット系統配管から蓄熱槽への漏水が認められたため、当該系統への冷温水を遮断するためのバルブを新設しました。

- ・事業内容 大ホール舞台ファンコイルユニット系統配管のバルブ新設
- ・事業費 972,000円

※ この工事を実施したことにより、漏水が止まり、大ホール空調の機能維持を図ることができました。

■美和文化会館事業

○文化教室

事業名	開催日	会場名	参加者数
初心者のためのやさしいヨガ (6回コース)	4月8日・22日・5月13日・ 27日・6月10日・24日(水)	アートスペースM ほか	18名
アロマヨガ (6回コース)	4月17日・5月1日・15日・ 29日・6月5日・19日(金)	アートスペースM ほか	18名
英国式リフレクソロジー	4月23日(木)	アートスペースM	16名
オリジナルバッグを作りましょう	4月26日(日)	多目的ホール	9名
暮らしに役立つ筆ペン・ボールペン	5月16日(土)	多目的ホール	14名
ジュエリーデコレーションアート	6月20日(土)	アートスペースM	10名
美髪を育てるヘッドケア	6月25日(木)	アートスペースM	9名
初心者のためのやさしいヨガ (6回コース)	7月1日・8日・15日・8月 26日・9月9日・30日(水)	アートスペースM ほか	18名
アロマヨガ (6回コース)	7月3日・17日・8月7日・ 21日・9月4日・18日(金)	アートスペースM ほか	10名
夏休み子ども絵画教室	7月31日(金)	多目的ホール	26名
夏休み子ども書道教室	8月8日(土)	多目的ホール	19名
トールペイント&デコパージュ	8月22日(土)	多目的ホール	12名

アロマヨガ（6回コース）	10月2日・16日・30日、11月13日・27日、12月11日（金）	アートスペースM ほか	15名
初心者のためのやさしいヨガ（6回コース）	10月14日・28日、11月11日・25日、12月2日・16日（水）	アートスペースM ほか	18名
本当においしいお茶の淹れ方	10月15日（木）	多目的ホール	6名
ジュエリーデコレーションアート	12月5日（土）	多目的ホール	10名
トールペイント&デコパージュ	12月26日（土）	多目的ホール	7名
初心者のためのやさしいヨガ（6回コース）	1月13日・27日、2月10日・24日、3月9日・23日（水）	アートスペースM ほか	21名
アロマヨガ（6回コース）	1月15日・29日、2月12日・19日、3月4日・25日（金）	アートスペースM ほか	12名

※ 講座を通じて、知識・趣味の充実を図り、仲間作りができました。

○ワンコインコンサート

事業名	開催日	会場名	参加者数
ワンコインコンサート vol.1	6月28日（日）	大ホール	240名
ワンコインコンサート vol.2	1月30日（土）	大ホール	93名

○その他イベント

事業名	開催日	会場名	参加者数
文化の杜落語会	4月18日（土）	多目的ホール	30名
海部交響楽団演奏会	4月19日（日）	大ホール	536名
クリスマスジャズコンサート	12月6日（日）	大ホール	632名
文化の杜ミュージカルショー	12月27日（日）	大ホール	483名
あま市民絵画展	12月25日（金）～ 1月11日（月・祝）	アートスペースM	47名
二日間だけの名画座	2月13日（土）・14日（日）	大ホール	269名
子育てセミナー 発達の気になる子供の特性を理解する	3月10日（木）	大ホール	62名
愛知室内オーケストラファミリー コンサート 共演者ワークショップ	3月19日（土）	大ホール	22名
愛知室内オーケストラファミリー コンサート	3月20日（日）	大ホール	182名
愛知室内オーケストラ演奏会	3月21日（月・祝）	大ホール	173名

※ イベント開催により、文化・芸術に親しむ機会を提供しました。

■美和図書館事業

下記のとおり企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

事業名	実施内容	期 間	会 場
特別展示	「しかけ絵本」展 美和図書館所蔵のしかけ絵本の展示を実施した。	4月4日～ 6月28日	図書館内 展示ケース
	「幸せの黄色い新幹線ドクターイエロー」展 市民からお借りした鉄道写真の展示を実施した。	7月11日～ 9月27日	
	「わがやのペット」展 市民から集めた自慢のペットの写真の展示を実施した。	10月10日～ 12月20日	
	「郷土玩具・申」展 美和図書館所蔵の大照コレクションより申の郷土玩具の展示を実施した。	1月5日～ 2月14日	
	「郷土玩具ひな人形」展 美和図書館所蔵の大照コレクションより、「ひな人形」の郷土玩具の展示を実施した。	2月24日～ 3月27日	

※ 企画展を開催することにより、来館者が文化に接する機会を提供しました。

○講座・講演会・読み聞かせ

事業名		実施内容	回数	参加者	会場
講演会		演題：「安楽死を選ぶ」オランダよき死の探検者たち 講師：シャボネットあかね 氏	1回	38名	美和文化会館 アートスペースM
春の図書館まつり	ブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった本や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供した。	1回	約300名	美和文化会館 ロビー
	グー・チョキ・パーのおはなし会&工作	図書館ボランティアにより幼児・児童むけおはなし会と工作を行った。	1回	35名	美和文化会館 ロビー
	紙芝居	演題：「説教語り紙芝居 三庄太夫一代記 国分寺家探しの段」 講師：紙芝居グループ「つくね座」	1回	30名	美和文化会館 アートスペースM
	公開講座	演題：「ファーストサイン」 講師：柴田幸江氏	1回	38名	美和文化会館 多目的ホールABC

ワークショップ		「一日図書館員」 「桑名の連鶴を折ろう！」 「しおりづくり」 「はじめての読み聞かせ」 「猫の飼い方」 「コップ人形をつくろう！」 「図書館のクリスマスディスプレイをつくろう！」 「本のフィルムコーティング」	9回	延100名	美和文化会館 会議室
講演会 「子どもの本を楽しむ会」		演題：「子どもの本を選ぶには」 講師：榎島隆教氏（愛知県立図書館司書）	1回	37名	美和文化会館 アールスペースM
ちくちく手づくりの会		読み聞かせやブックトークの後に絵本やおはなしに出てくるキャラクター等を針と糸で手作りした。 講師：加藤弘子氏	2回	延39名	美和文化会館 会議室
親子ふれあい上映会		「トムとジェリーⅠ」「トムとジェリーⅡ」を上映した。	2回	延144名	美和文化会館 多目的ホールA B C
講演会		演題：「川柳よもやまばなし」 講師：新海照弘氏	1回	25名	美和文化会館 多目的ホールA B
秋の図書館まつり	ブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般家庭で不要になった本や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供した。	1回	約500名	美和文化会館 ロビー
	グー・チョキ・パーのおはなし会&工作	図書館ボランティアにより幼児・児童むけおはなし会と工作を行った。	1回	198名	美和文化会館 多目的ホールA B C
	わたがし	無料で綿菓子の配布を行った。	1回	100名	美和文化会館 ロビー
	ファミリーコンサート	学生によるミニコンサートを行った。	1回	91名	美和文化会館 多目的ホールA B C
	人形劇	演題：甚目寺説教源氏節「芦屋道満大内鑑・久寿の葉子別れの段・久寿の葉信田の森 子別れの段」 講師：甚目寺説教源氏節もくもく座	1回	75名	美和文化会館 アールスペースM
	おもちゃ病院	「モリコロおもちゃ病院」のグループにより、壊れたおもちゃの修理を行った。	1回	50名	美和文化会館 2階ロビー
	ワンちゃんふれあい広場	犬のふれあい広場を開催した。	1回	約500名	美和文化会館 エントランス

わたしの一押し本	利用者からおすすめ図書のポップを書いて頂き展示した。	1回	56名	美和図書館内
絵手紙教室	絵手紙で年賀状を作成。申の土鈴に絵付け。 講師：近藤喜奴子氏	1回	20名	美和文化会館 多目的ホールA B
講談社おはなし隊	講談社おはなし隊による移動図書館とおはなし会を実施した。	1回	34名	美和文化会館 正面入り口付近 アートスペースM
講演会	演題：「孫が語る“読書家” 大平正芳」 講師：渡邊満子氏	1回	40名	美和文化会館 アートスペースM
図書館見学	正則小学校2年生 美和東小学校2年生 美和東小学校3年生 美和小学校2年生 篠田保育園 七宝北部保育園	6回	延230名	美和図書館内
職場体験学習	七宝中学校2年生 七宝北中学校2年生 甚目寺南中学校2年生 美和中学校2年生 甚目寺中学校2年生	5回	延23名	美和図書館内
ブックトーク	読書ボランティア講座 小物作りとブックトーク「ぶたのほん」	1回	16名	美和公民館
	美和東小1年生「どうぶつのあかちゃん」	1回	70名	美和東小学校
七夕飾り	図書館来館者に願い事を書いた短冊を笹に飾ってもらった。	1回	—	美和文化会館 ロビー
読書ラリー	期間中の図書貸出利用が5回、8回に及んだ利用者に対し、賞品を付与。	1回	—	美和図書館内
学習室開設	夏休み期間中の学生のための学習室を開設した。 (延38日間)	1回	555名	美和文化会館 アートスペースM
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等	44回	延1,129名	美和図書館 おはなしコーナー

ゲー・チョキ・パーのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、工作、お手玉あそび、手あそび、ストーリーテリング等	16回	延615名	美和図書館 おはなしコーナー他
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等	21回	延262名	美和図書館 おはなしコーナー
出張読み聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等	72回	延3,298名	・子育て支援センター (11回、延408名) ・つどいの広場 (12回、延207名) ・七宝北部保育園 (2回、延38名) ・正則保育園 (12回、延592名) ・篠田保育園 (12回、延534名) ・七宝子ども園 (5回、延228名) ・七宝ひかり保育園 (2回、延263名) ・美和保育園 (5回、延278名) ・青山幼稚園 (3回、延357名) ・七宝幼稚園 (3回、延187名) ・中川幼稚園 (3回、延128名) ・木田幼稚園 (2回、延78名)
乳児健診読み聞かせ (4月～7月)	乳児健診の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌う。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行った。	4回	47名	美和保健センター
ブックスタート出張読み聞かせ (8月～3月)	乳児健診の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌う。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行い、ブックスタートの図書をお渡しした。	8回	107名	美和保健センター
おはなしをきく会	年長児以上を対象にストーリーテリングを行った。	2回	延22名	美和図書館 おはなしコーナー

※ 各種事業、読み聞かせ等を通じて、本を読む楽しさを伝えることができました。

○読書ボランティア講座

講 座 名	内 容	開催日	参加者	定 員
小物作りとブックトーク	おはなし会で手あそびに活用できる小物作りとブックトークを行った。	10月14日	16名	20名
小物作りとわらべうた	お手玉作りとわらべうたあそび、手あそびの紹介をした。	10月21日	20名	20名

■文化施設整備事業

文化振興の拠点となる文化会館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○美和文化会館音響設備改修工事

美和文化会館内の音響設備の経年劣化が進行しており、部品が製造中止となってきたため、音響設備の改修工事を実施しました。

- ・事業内容 大ホール、多目的ホールの音響設備の改修
- ・事業費 36,612,000円

※ この工事を実施したことにより、音響設備の機能維持と施設利用者の利便性を図ることができました。

○美和文化会館外壁診断調査設計委託業務

美和文化会館は、開館から21年が経過し、外壁タイルの経年劣化が確認されたため、状態を把握するための診断調査及び、修繕するための工事設計を委託しました。

- ・事業内容 診断調査及び設計業務
- ・事業費 6,156,000円

○美和文化会館冷温水発生機制御系統等修繕工事

美和文化会館の冷温水発生機制御系統の1号機に不具合が生じており、遠隔操作ができるよう修繕しました。

- ・事業内容 冷温水発生機制御系統等の修繕
- ・事業費 1,285,200円

※ この工事を実施したことにより、冷温水発生機が最大に効果が発揮できるようになり、施設利用者に快適な環境を提供することができました。

(3) スポーツ課

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

教 室 名	期 間	実施場所	回数	対象	参加者数	内 容
親子体操教室（前期）	5月19日～ 7月7日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	22組	親子が一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、運動の基本を習得することを目的として実施しました。
親子体操教室（後期）	10月13日～ 12月8日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	30組	
親子体操教室①	6月2日～ 3月1日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	18組	
親子体操教室②	6月9日～ 3月8日 隔週火曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室③	6月9日～ 3月8日 隔週火曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
ボクササイズ教室	5月26日～ 6月30日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	30名	ボクササイズを通して健康な生活を送ることを目的に実施しました。
ヨガ教室（前期）	5月22日～ 7月10日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	ヨガの基本的な呼吸法と基本ポーズの習得を目的に実施しました。
ヨガ教室（後期）	10月23日～ 12月11日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～①	10月8日～ 12月10日 毎週木曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	学童の成長や発達過程から「動作の習熟」を主眼に置き、楽しくからだを動かすことを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～②	10月8日～ 12月10日 毎週木曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	
はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月8日～ 12月10日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	60歳 以上	10名	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施しました。

健康・体力づくり教室 ～総合体育館トレーニング室を利用しよう～	10月3日～ 11月28日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生 以上	10名	トレーニング室を利用し、器具の正しい使い方、効果的なトレーニング方法の習得を目的として実施しました。
小学生スポーツ教室 (団体スポーツ教室)	8月4日～ 8月28日 火・金曜日 (14:30～15:30)	七宝 総合体育館	5回	小学生	30名	小学生を対象にドッジボールを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。
	7月29日～ 8月26日 水曜日 (14:30～15:30)	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	30名	

※ 各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

行事・大会名	期 日	曜日	実施場所	参加者数	内 容
ラジオ体操指導者講習会	5月24日	日	七宝総合体育館	48名	市民ラジオ体操の集いの開催前に、各種団体の代表者を対象にラジオ体操の講習会を開催し、広く市民に指導してもらうことを目的に実施しました。
市民ラジオ体操の集い	6月28日	日	甚目寺総合体育館 (野外ステージ)	151名	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施しました。
	7月19日	日	七宝焼アートヴィレッジふれあい広場	301名	
	8月30日	日	美和中学校体育館	212名	
市民歩け歩け会	10月4日	日	上石津緑の村公園	85名	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
市民走ろう歩こう会	1月31日	日	木曽三川公園 東海広場	408名	木曽三川公園にて走ったり歩いたりして、健康及び体力の保持・増進を目的に実施しました。

※ 市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

■その他スポーツ事業

○夏休み学校プール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	期 日	実施場所	参加者数	内 容
夏休み学校プール開放事業	8月2日～ 8月16日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	延 1,627 名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

○総合型地域スポーツクラブ

《年間講座》

種 目	時 間 帯 等	場 所	対 象	参加者数
ジョギング&ランニング (ランナーズクラブ)	毎月第1土曜日・第3日曜日 午後7時～午後8時30分	七宝北中学校 グラウンド	小学生以上	108 名
子ども体操教室 (キッズクラブ)	毎週金曜日 午後4時～午後5時	七宝総合体育館 アリーナ	年中・年長	62 名
	毎週火曜日 午後4時～午後5時	七宝総合体育館 アリーナ	小1・2年生	35 名
スポーツ吹き矢教室	毎月第2・4木曜日 午後2時～午後3時30分	甚目寺総合体育館 会議室1・2	一般	16 名
あまっ子スポーツ天国	毎月第2土曜日 午後1時30分～午後3時	美和公民館 講堂兼体育場他	小学生	12 名
ライフワークフィットネス	毎月第1・3金曜日 午前10時～午前11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	65歳以上	29 名
ダンベルエクササイズ	毎週木曜日 午前10時30分～正午	美和文化会館 多目的ホール	一般	27 名
ノルディックウォーキング 教室	毎月第2・4日曜日 午前9時～午前10時30分	七宝焼アトヴィレッジ ふれあい広場	一般	36 名
キッズ・フリーダンス	毎週水曜日 午後4時～午後5時	甚目寺総合体育館 剣道場	幼児～ 小学3年生	23 名
キッズ・器械体操	第1・3水曜日 午後5時～午後6時	甚目寺総合体育館 サブアリーナ	幼児～ 小学3年生	32 名
ママ・フィットネス	毎週水曜日 午後1時～午後2時	甚目寺総合体育館 剣道場	一般女性	10 名
ラージボール卓球教室	毎週水曜日 午前10時～午前11時30分	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	28 名
硬式卓球教室	毎週金曜日 午後1時30分～午後3時	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	一般	27 名
ラクラクお楽しみ ダイエット教室	毎週火曜日 午後1時30分～午後3時	甚目寺総合体育館 会議室1・2	一般	17 名

《短期講座》

種 目	時 間 帯 等	場 所	対 象	参加者数
やったー！夏休み！！ わくわくクラブ	8月5日～8月27日 全6回	あまスポーツクラブ 事務所前	小学生	延 42 名
健康麻雀教室	5月15日～7月10日 全5回 8月28日～10月30日 全5回 11月13日～1月8日 全5回	七宝公民館 研修室 甚目寺公民館 視聴覚室 美和公民館 研修室	一般	10 名 12 名 15 名
介護予防いきいきはつらつ 動きづくり教室【前期】	5月21日～7月16日 全5回 隔週木曜日	情報ふれあいセンター 学習室	一般	8 名
介護予防いきいきはつらつ 動きづくり教室【後期】	10月8日～12月3日 全5回 隔週木曜日	七宝公民館 研修室	一般	13 名
男のこだわり料理教室	7月12日（日） 午前9時30分～正午	美和公民館 調理室	一般	8 名

《イベント事業》

種 目	時 間 帯 等	場 所	対 象	参加者数
あまあそびフェスタ 2015	5月30日（土） 10：00～15：00	七宝焼 アートヴィレッジ	小学生以上	400 名
あまちゃんラージボール 卓球大会	10月24日（土） 9：00～17：00	七宝総合体育館 アリーナ	2人1組 一般	60 組
第2回お楽しみラダーゲッ ター大会	11月22日（日）	美和公民館 講堂兼体育場	3人1チーム 小学生以上	6 チーム
2周年記念イベント	2月28日（日）	七宝総合体育館 アリーナ	小学生以上	60 名

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○七宝総合体育館給湯設備改修工事

七宝総合体育館の給湯設備が、経年劣化によりシャワー室等への温水供給ができなくなったため、給湯設備の改修工事を実施しました。

- ・事業内容 給湯設備改修・配管・電気工事等
- ・事業費 1, 096, 200円

※ この工事を実施したことにより、快適な施設環境を提供することができました。

○七宝総合体育館非常用自家発電設備制御装置等取替工事

非常用自家発電設備の電源が陥落し、制御装置等に不具合が発見されたため、取替工事を実施しました。

- ・事業内容 制御装置・充電器改装、制御盤改修工事
- ・事業費 1, 296, 000円

※ この工事を実施したことにより、危険性がなくなり安心して使用していただける施設環境を提供できました。

○甚目寺総合体育館下水道排水設備工事

平成27年度にあま市民病院建設に伴い、公共下水道が供用となったため、下水道への接続工事を行いました。

- ・事業内容 公共下水道への接続工事
- ・事業費 6, 829, 000円

※ この工事を実施したことにより、環境配慮及び衛生的な体育館の整備を進めることができました。

○甚目寺総合体育館駐車場増設等整備工事

甚目寺総合体育館利用者が自家用車や自転車で来館される際、駐車及び駐輪可能台数が不足することが多く、利用者に不便をかけており、特に大会等のイベント開催時には路上駐車等により近隣住民にも多大な迷惑をかけているため、これを解消し、安全安心で快適な体育館として使用していただくよう、駐車場の増設等整備を行いました。

- ・事業内容 駐輪場の増設、来館車両用北側出入口工事、インターロッキングブロック工事、駐車場白線引き工事、車止め（衝突防止）工事、花壇撤去工事

・事業費 12,312,000円

※ この工事を実施したことにより、施設環境の改善を図ることができました。

○七宝プール駐車場シャッター取付工事

美和プール解体に伴い、倉庫内に保管してある物品等の保管場所を確保するために、七宝プール下の駐車場のスペースを使用するため、シャッター取付工事を実施しました。

- ・事業内容 仮設・シャッター・棚制作・シーリング・電気設備工事

・事業費 4,082,400円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○七宝鷹居グラウンド高圧機器改修工事

定期点検において絶縁地等の不具合が指摘され、施設及び周辺で停電が発生する恐れがあるため、早急に改修工事を実施しました。

- ・事業内容 高圧ケーブル・高圧気中開閉器等交換、耐圧試験

・事業費 1,058,400円

※ この工事を実施したことにより、物品の再利用と整理ができ、施設環境を整えることができました。

○社会体育施設塩化カルシウム散布及びグラウンド整備工事

グラウンドの凍結防止及び土の飛散防止を目的として塩化カルシウムの散布とグラウンドの不陸を修正する整備工事を実施しました。

- ・事業内容 塩化カルシウムの散布及びグラウンド整備

※対象：七宝鷹居グラウンド・美和グラウンド・蜂須賀グラウンド

・事業費 850,392円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○美和プール解体工事実施設計業務

新学校給食センター建設予定地である美和プールの解体工事を行うための実施設計業務を実施しました。

- ・事業内容 ア美和プール管理棟・機械室・自転車置場・50mプールスタンド等の解体工事及び解体後の整地までの設計
イ既存器具庫・便所の改修工事及び設備工事の設計
ウ放送室新築工事及び設備工事の設計
エ敷地内水路の付替えの設計

・事業費 3,877,200円

(4) 学校給食センター課

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○親子料理教室

親子で調理をすることで、家庭での食に対する関心を高めるために、親子料理教室を開催し、給食で人気の献立や、家庭で簡単に作ることのできる料理を題材とした調理実習を通して、調理の楽しみを体験し、学校給食や食に対する理解を深めました。

事業名	場 所	開催日	受講者数	申込者数
親子料理教室	七宝公民館	7月29日	18組42名	25組
親子料理教室	美和公民館	8月5日	12組27名	38組

※ 児童は料理教室を通して、調理をすることの楽しみを味わうことができ、保護者と一緒に作ることにより、家庭での食に対する興味・関心が高まり、家族の一員としての意識を向上することができました。

○学校における食に関する指導の実施

児童生徒の食への興味・関心を高め、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が各学校にて、学級担任とTT授業を行ったり、給食時に給食を生きた教材として指導しました。また、毎月給食センターから献立表や給食だより、盛り付け図などを配布し、給食を通して食への関心を高めました。

※ 学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭・学校栄養職員が直接指導することにより、児童生徒の食への興味・関心を高めることができ、各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり、話をしたりすることで現状が把握でき、献立に取り入れることができました。

○学校における健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

- ・学校保健委員会 七宝小学校、伊福小学校、篠田小学校、甚目寺小学校、甚目寺西小学校
- ・給食試食会 七宝小学校、宝小学校、伊福小学校、秋竹小学校、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校、甚目寺小学校、甚目寺南小学校、甚目寺東小学校、甚目寺西小学校、甚目寺中学校、甚目寺南中学校

※ 栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食を話題として取り上げる機会が増え、児童生徒・教職員が食への関心を持つことで、保護者の興味が高まり、家庭での食に対する関心を期待することができました。

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
4月 3日 (金)	5月分献立検討会
4月15日 (水)	5月分物資選定委員会
5月 1日 (金)	6月分献立検討会
5月14日 (木)	6月分物資選定委員会
6月 5日 (金)	7月分献立検討会
6月16日 (火)	7月分物資選定委員会
7月 2日 (木)	第1回学校給食センター運営委員会
7月 3日 (金)	9月分献立検討会
7月31日 (金)	9月・2学期分物資選定委員会
9月 4日 (金)	10月分献立検討会
9月16日 (水)	10月分物資選定委員会
10月 2日 (金)	11月分献立検討会
10月13日 (火)	11月分物資選定委員会
11月 6日 (金)	12月分献立検討会
11月17日 (火)	12月分物資選定委員会
12月 4日 (金)	1月分献立検討会
12月15日 (火)	1月・3学期分物資選定委員会
12月18日 (金)	2月分献立検討会
1月15日 (金)	2月分物資選定委員会
2月 3日 (水)	3月分献立検討会
2月16日 (火)	3月分物資選定委員会
2月26日 (金)	第2回学校給食センター運営委員会
3月 2日 (水)	4月分献立検討会
3月15日 (火)	4月・1学期分物資選定委員会

■学校給食センター整備事業

安全・安心に学校給食を提供するために、次の整備事業を行いました。

○新学校給食センター建設に係る基本構想策定業務及び発注者支援業務

新学校給食センターの平成31年度供用開始を目指すにあたって、より良いセンターとするため、専門的知識を活用しました。

- ・事業内容 基本構想策定業務及び発注者支援業務
- ・事業費 7,599,960円

※ この業務を発注したことにより、専門的知識の活用ができ、新学校給食センター建設事業の基本構想を策定することができました。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	平尾 理（元佐織中学校長、あま市内在住）
--------	----------------------

今や、教育課題は多様化・複雑化し、学校教育のみでの解決は不可能である。

昨年度、あま市においても、市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置され、「あま市教育大綱」を策定した。これによって、行政と教育委員会は教育課題に対する認識を確認し共有するとともに、よりいっそう深めることとなった。「教育立市あま」のさらなる具現化が期待される。

あま市の未来を担い、あま市の未来を創り出す健全な子どもたちの育成こそ、あま市の教育の目的である。しかし、この目的達成を阻害するものがあるとすれば、学校教育への過度の期待であろう。例えば、青少年の規範意識や道徳性の低下について私見を述べるなら、これらは元来、家庭教育で養い、地域社会を実践の場とし、さらには学校で評価・指導するという、三者が一体して育成すべきものである。ところが、これらの意識低下の主因を学校教育のみに求める風潮がありはしないか。特に、昨今の世論がメディアの扇動により安直に流されてしまい、学校教育の弱体化に拍車をかけている。教育の基礎は家庭にあり、次いでそれを構成する地域社会にある。規範意識・道徳性の低下等の課題は、価値観の多様化という名では片づけてはならない。あま市「総合教育会議」においても、教育の三者の立場を改めて見直し、青少年の豊かな人格形成が図れるよう切に願うものである。

○ 学校教育課について

1 スクールサポーター配置事業

個に応じたきめ細かい少人数の指導は、子どもたちの可能性を引き出す重要な環境設定である。とりわけ、特別な支援を必要とする子どもに対しての教育は「教育立市・人権尊重」のあま市教育の象徴的なものであり、さらなる充実を望みたい。

2 英語教育の推進

次期学習指導要領において、小学校で英語が教科として本格的に導入される。語学は「慣れ」が大切な要素である。小中学校(以下各校)の英語指導助手配置も進み、環境も整備されつつある。一方、運用面では各校に任されており、教師と英語指導助手が子どもの実態を把握し、指導にあたってほしい。

3 教育相談センター事業

適応指導教室や教育相談の重要性が高まるなか、教育相談センター職員は意欲的にその目的を遂行している。特に、学校不適応等生徒への支援は、専門員の指導・助言と職員の熱意が功を奏し、多くの子どもたちの学校復帰、そして社会復帰を実現している。これは特筆すべき成果である。今後とも社会のニーズに応えるべく、全市挙げての支援を期待したい。

また、当センターでは学校支援事業として、「教育アドバイザー派遣事業」と「教師力パワーアップ講座」を展開し、教師の研修を進めている。これらは、学校教育

において日々直面する課題を解決するための後方支援となっている。「あま教師塾」とともに、教員の研修は充実している。また、この研修を生かし、実践する場は学校であり、教師相互が高めあう雰囲気を醸成していく役割も果たしている。まさに教員研修の主体は各校にある。各校においては、それぞれの課題に焦点をあてた取り組みが深まるよう期待したい。

4 小中学校適正規模見直し検討事業

まずは、検討委員会の真摯な議論に対し敬意を表したい。しかし、議論は深まっているものの方向性が見えてこないようである。これを打開するため、地域社会の関係者をはじめ、各界の識者等に意見を求める等、弾力的な展開を期したい。未来のあま市民にとって、また、彼らが育っていく上で必要不可欠なことは何か。いずれにしても検討委員会の結論が、あま市の子どもたちにとって有益なものとなることを願いたい。

5 学校支援会議

子どもたちを取り巻く課題は多岐にわたっている。なかでも児童生徒が起こす事件事故の責任を学校教育に負わせるという社会風潮があることは冒頭にも述べた。かつて、学校において厳しく鍛えたり、意図的に突き放したりすることは、家庭や社会からの要求であったが、今や、学校は消極的にならざるを得ない傾向にある。平成24年度に設置された「学校支援会議」は、このような学校の現状に力強いサポート役を担っている。

学校は地域の教育力を活用するため、常に模索している。既存の学校評議員会やPTAの各会議において学校理解を進めるのはもとより、独自の「ミニ支援会議」を設ける等、幅広い理解と支援を得られるよう期待したい。

○ 生涯学習課について

あま市民の学習意欲は極めて高いものがあり、市にとって貴重な財産である。

公民館事業では、どの公民館も多くの講座を企画運営しており、そのジャンルも幅広いものがある。これらの活動を通して、市民が交流を深め、地域コミュニティが発展していくことを期待したい。平成28年度開校のシルバーカレッジ事業に向けて、27年度はプレオープンセミナーを行っている。この事業には多くの市民が受講を希望する。この事業の着目すべきところは、合併前の旧町の域を超えた受講生（メンバー制）の学習交流である。今後、ボランティア活動等を通じた新たな地域社会の構築が期待される。

家庭教育学級推進事業も充実したものがある。育児不安等によるストレスが社会問題化しているなか、幼児期家庭教育講座や子育てサロンの活動は意義あるものである。各校で開催している家庭教育学級の内容也多岐にわたり、和やかな雰囲気の中で進められているが、時には子育てをテーマとして、家庭教育への提言ができる時間も求めたい。

○ スポーツ課について

平成２７年度、新設されたスポーツ課は、これまでの社会体育関係事業を整理統合したものである。多くの事業を展開する等、その充実ぶりは顕著なものがあり、良いスタートが切れたように思う。今後は「力強く、健やかな勇健都市“あま”」の具現化を期待したい。

○ 学校給食センター課について

学校給食は、単に「食」の提供だけでなく、その役割は広範にわたっている。とりわけ、食物アレルギー対策をはじめとする「食の安全」は、生命にかかわる問題であるため、幾重ものチェック体制が求められている。多忙極まる部局であるが、当該児童生徒の実態を把握するためにも、学校との相互連携をさらに深めてほしい。

今年、ブラジルでは夢の祭典、オリンピック・パラリンピックが開催され日本の選手の活躍で大いに盛り上がっている。国内では甲子園において高校野球が開催され、高校球児の活躍が新聞紙上を賑やかしている。

あま市を見てみると児童クラブチームの女子バレーボールチームが県代表として全国大会に出場している。地域が持つ教育力が着実に向上している結果であろう。「あま市教育立市プラン」もいよいよ現実味をおび速度を上げてきたと思われる。一方、昨今のスマートフォン等の情報機器の発達とは生活習慣の乱れやコミュニケーション力の低下など日常生活への支障をきたすなど児童生徒への悪影響が懸念されている。規則正しい生活習慣の育成や家庭学習の定着にマイナスの要因を与えている。このような事象に対応するためには、地域・家庭・学校との連携が不可欠になる。家庭でのルールづくりや適切な使い方について保護者や地域と連携していく指導をしていく要としての教育委員会のあり方に期待したい。

○ 学校教育課について

1 教育相談センター事業

教育相談センター事業は、「学校教育支援」・「教育相談活動」・「不登校などの指導及び支援」を三つの事業を柱としている。学校ではいじめや不登校問題など様々な課題・問題が山積しているのが現状である。この現状に対処する上において、本市における教育相談センター事業に対して大切さを失わず幅広い活動に繋がって行くことを期待したい。

2 小中学校適正規模見直し事業

小中学校適正規模化にともなう地区委員会も毎年4回開催され、地区代表、PTA代表、学校関係者が揃い会議が行われている。理想的な教育を押し進めるには、学校の生徒数が適正規模であることを優先すべきだと思うが、やはり古くからの町であるなどあま市民としての理解が不足しているのか、あまり進展していない。あま市には17の学校があり、子ども達の望ましい適正な再編を保護者や地域の理解を得る努力と各地区の検討委員会の英断を期待し、教育の機会均等の意味でも子供たちにストレスを持たさない配慮が必要ではないか。

3 特色ある学校づくり推進事業

従来の市内一斉横並びの学校づくりから、地域に開かれた魅力ある学校づくりに取り組むように変更し4年目を迎えた。本事業により各学校が独自の活動を展開し、甚目寺中などの「東北応援プロジェクト」が市内に広がった例もある。どの様に変化し活性化したか意図するところであるが、今でも活動を新しくするだけでなく教育活動の発想性、自主性が感じられる特色、魅力を感じる学校を目指してほしい。

○ 生涯学習課について

従来より、市内各地区において各種の社会教育事業が展開されている。新規事業として注目されるのがシルバーカレッジ事業である。60歳以上のシニア世代を地域におけるコミュニティ活動やボランティア活動の担い手として地域社会に貢献していただくことを目的とした事業である。この事業は始まったばかりであるが、少子高齢化が進む現代社会において、シニア層が生涯現役でいきいきと活動できる社会の形成に繋がっていくことを期待したい。

○ スポーツ課について

スポーツ行事、大会は市民が一番、興味をもち気楽に参加できる事業である。地域での親睦とふれあえる行事でもあり、多くのあま市民との交流の場でもある。しかしながら、各種大会の中で「市民歩け大会」「市民走ろう歩こう会」の会場が遠方であるため、車での移動を余儀なくされている。車での移動に関しては事故など懸念され、安心安全を重視しなければならない。市民のふれあい・交流を一つの目的とするのならば家族全員での参加など老若男女まで楽しく行う行事としてあま市内での開催場所を期待する。また、三年前に総合型地域スポーツクラブが設立された。多種多様な事業が展開されている。市の活性化や地域コミュニティの発展・交流、また市民の健康増進に寄与するなど、市民からも喜ばれるクラブを目指し市民が参加意欲を注がれる画期的なクラブを目指してほしい。

○ 学校給食センター課について

学校給食センターの「食」の役割は、生徒、家庭と多岐にわたり関心が高く重要である。「親子料理教室」を行うことによって子どもたちがさらに「食」に対する能力が育つのではないか。これからもあらゆる角度から機会を捉え積極的に「食育」に関する事業を推進してもらいたい。今回、新給食センター建設では、3地区に所在する3給食センターにおける様々な課題を教訓に未来志向の施設になることを望む。